

強い霜に対する農作物の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

令和8年4月8日、福島地方気象台HP「霜と気温の見通し」に「凍霜害対策解説資料【臨時】明日の霜の見通し（4月8日更新）」が掲載されました。

放射冷却の影響により、山沿いでは霜の降りるところが多く、強い霜の降りるおそれもあると予想されています。農作物の管理には十分注意してください。

明日（9日）の霜の見通し

令和8年4月8日 福島地方気象台HPより

福島県に霜注意報を発表しています。

明日（9日）は放射冷却の影響により、山沿いでは霜のおりるところが多く、強い霜のおりるおそれもあります。

平地でも霜のおりるところがあるでしょう。

遅霜による被害に注意してください。

晴れて風が弱まるため、川沿いなど地形の影響等により、予想以上に冷え込む所がある見込みです。

9日朝に予想される最低気温は、いずれも低い所で

会津の山沿い	氷点下	2度
会津の平地		0度
中通り・浜通りの山沿い		0度
中通りの平地		2度
浜通りの平地		3度

気象庁 [営農活動に役立つ気象情報]

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

農業振興課のホームページに、「作物別凍霜害及びひょう害技術対策（令和7年3月3日）」を掲載していますので、活用願います。

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu>

【果 樹】

現在の果樹の生育は、平年よりも早く進み、もも、なし「豊水」などの一部品種では開花が始まっています。生育が進むにつれ、耐凍性が低下し凍霜害の危険性が高くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

1 防霜対策

(1) 事前対策

事前対策として、防霜資材の手配と準備を万全にするとともに、地温の上昇を図るため、下草を5cm程度に刈り込みましょう。

また、空気や土壌の乾燥は気温の低下を助長するため、適宜かん水を実施し、土壌水分の確保に努めましょう。

(2) 防霜ファン（送風法）

防霜ファンを設置している場合には、サーモスタットの設定温度（2～3℃）を確認し、正しく稼働することを確認しましょう。

(3) 燃焼法

燃焼資材を事前に確認し、必要な量を速やかに確保しましょう。

燃焼法を実施する場合には、園地内の気温を観測しながら、安全限界温度より1℃高い温度を目安に点火を判断しましょう。

(4) 事後対策

降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉の徹底により結実確保を図りましょう。

2 発芽状況（福島県農業総合センター果樹研究所、4月7日現在）

ももの開花は、「あかつき」が4月4日で平年より8日、昨年より5日早くなりました。「ゆうぞら」が4月6日で平年より6日、昨年より4日早くなりました（表1）。

なしの発芽は、「幸水」が3月28日で平年より3日早く、昨年並となりました。「豊水」が3月25日で平年より3日、昨年より1日早くなりました。また、「豊水」の開花は4月7日で平年より8日、昨年より7日早い状況です（表1）。

りんごの発芽は、「つがる」が3月25日で平年並かつ昨年並でした。「ふじ」が3月24日で平年及び昨年より2日早くなりました（表1）。

おうとうの発芽は、「佐藤錦」が3月30日で平年より1日、昨年より3日遅くなりました（表1）。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意してください。

表1 発芽状況（農業総合センター果樹研究所、4月7日現在）

樹種	品種	発芽			開花始め		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
もも	あかつき	3月21日	3月23日	3月24日	4月4日	4月12日	4月9日
	ゆうぞら	3月21日	3月24日	3月24日	4月6日	4月12日	4月10日
なし	幸水	3月28日	3月31日	3月28日	未	4月19日	4月17日
	豊水	3月25日	3月28日	3月26日	4月7日	4月15日	4月14日
りんご	つがる	3月25日	3月25日	3月25日	未	4月24日	4月21日
	ふじ	3月24日	3月26日	3月26日	未	4月24日	4月20日
おうとう	佐藤錦	3月30日	3月29日	3月27日	未	4月17日	4月16日

注) 平年は1996～2025年の平均値

【野菜・花き】

1 育苗・施設栽培

無加温ハウス内の作物には、カーテン、小トンネル、保温マット等を被覆し、補助暖

房器具を用意して温度の確保に努めましょう。ストーブ等補助暖房器具を燃焼させた場合には、換気をしてからハウス内に入るようにしましょう。

日中晴れてハウス内が高温となった場合には、換気を行い、作物が軟弱な生育をしないように努めましょう。

2 トンネル・露地栽培

トンネル栽培ではビニル等に加え、不織布等の資材を被覆し、保温に努めましょう。

露地栽培では無理な早まき・植付けは行わず、既に植付けした場合は、トンネルやベタがけ資材の被覆により保温に努めましょう。

被害が発生した場合は、欠株の補植、速効性肥料の施用等適切な肥培管理により草勢の回復を図りましょう。

3 アスパラガス

会津地方の半促成栽培は、平年並の3月下旬から収穫が開始されています。露地栽培は、4月上旬から萌芽が開始しています。

施設栽培では、夕方早めにハウスを閉めて保温に努めましょう。

凍害を受けた若茎は除去し、次の萌芽を促しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>